

働く女性

金子寿子さん

これから私にできることを私のペースで

みんなが幸せに生きるために 第9期江東区男女共同参画審議会の委員として活動し、2019年には江東区の男女共同参画フォーラムの実行委員長を務められた金子さん。さらには、お子様の通う区内の小学校でPTA副会長を担うなど、地域のため献身的に取り組まれています。そのような活動のきっかけは、一冊の詩集でした。



パルカレッジで学び、男女共同参画にまつわる活動を始めた金子さんは、ある感情が強まりました。それは、夫への感謝の気持ちです。「地域活動はある意味ボランティアです。家計の助けにならないばかりか土日に家をあけることもしばしば。それでも夫は文句ひとついわずにやりたいことをやっていたらどうやら



2019男女共同参画フォーラム実行委員の方々。左端が金子さん。

地域で活躍する女性に活動への意欲と家族への想いを、そしてイクメンパパに仕事と育児を両立するための秘訣について伺いました。

江東のひと

良き父、良き夫であるために

「長男が今年で2歳になりました。今がかわいい盛りなのでしようか。目に入れても痛くないとはこのことですね(笑)」と頬を緩める田島さん。目標としているのは、良き父であり、そして良き夫であること。妊娠・出産前は美容師として活躍されていた妻を気遣い、出産後も「ごどもは大丈夫だから、ちょっと出かけてくれれば」と、ことあるごとに声をかけている

家事も育児も楽しみながら頑張っています

田島圭吾さん



イクメンパパ



休日にごどもと絵本を囲みながら楽しむステイホーム



右から代表取締役の矢内誠さん、スタッフの三木絵美さん、須藤隆幸さん。

区内企業に見るワーク・ライフ・バランスの取り組み

職員自身に働き方を委ねて

江東区内の8カ所で展開するダイサービスをはじめ、福祉用具のレンタル・販売、居宅介護支援・ケアプラン作成、さらには配食サービスなど、介護福祉にまつわる幅広い事業を展開する有限会社すこやか。すべての利用者様に「毎日が楽しい」「もっと長生きしたい」と自発的に思えるような、心の自立の支援を使命とし、心のこもった介護に取り組まれています。

そんな会社が大切にしているのは、利用者様だけではありません。2011年と2014年の2度にわたり「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業」に選ばれるなど、職員の働きやすさに対するケアも充実。その具体的な取り組みについて、2017年より代表取締役を務める矢内さんにお話を伺いました。

大切なのは職員間の助け合い

矢内さんの打ち出した有給休暇取得率の目標は100%。その数字を明確に示すことで職員同士の助け合いの精神が育まれ、取り組み開始から3年の時点ですでに72.5%に達しているとのこと。これは先のデータと比較しても異例の数値といえるでしょう。同時に、残業時間を現状より月に約4時間削減する目標を掲げており、こちらも着実な成果をあげているといいます。



ランチタイムも和気あいあい。職員同士の良好な関係が垣間見えます。